

授業科目	臨床病態検査学特論 Clinical Chemistry focusing on Disease States			担当教員	隈 博幸、小林 秀光、小川 由起子、 太田 一寿、高崎 伸也		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1-3 年／後期	必修・選択	選択
授業のねらい							
1) 生体内で起こる化学反応について、その生理的意義を概説することができる。 2) 主な臨床検査法について、その原理や有用性を概説することができる。 3) 生体試料の取り扱い方、前処理法について概説できる。 4) 臨床検査の適切なタイミングについて概説できる。 5) 検査値から疾病原因となっている臓器、器官を推測することができる。 6) 代表的疾患の原因、病態、治療及び予防について、分子レベルで概説することができる。 7) 検査データから予防または治療に必要な処置を推測することができる。							
観点	学生の授業における到達目標			評価手段・方法	評価比率		
関心・意欲 ・態度	臨床検査に関心を持ち、薬剤師としての関わり方を身につける。			授業態度・授業への取組	10%		
思考・判断	(1) 検査値から疾病原因となっている臓器、器官を推測することができる。(2) 検査データから予防または治療に必要な処置を推測することができる。			レポート 随時試験	20%		
技能・表現	臨床検査と検査値について、実際の臨床データや論文等の資料に基づいて、自らの意見を表現できる。			課題発表	40%		
知識・理解	(1) 主な臨床検査法について、その原理や有用性を概説することができる。(2) 臨床検査の適切なタイミングについて概説できる。(3) 代表的疾患の原因、病態、治療及び予防について、分子レベルで概説することができる。			レポート 随時試験	30%		
出 席						受験要件	
合 計						100%	
評価基準および評価手段・方法の補足説明							
レポート・随時試験 50%(思考・判断：20%, 知識・理解：30%)、授業態度・授業への取組 10% (関心・意欲・態度) および課題発表 40% (技能・表現) で総合的に評価を行う。							
授業の概要							
臨床の場においては、患者の病態・症状に合わせて適切な医薬品を適正量使用することが極めて重要であり、そのための服薬指導や医薬品情報提供は薬剤師の使命である。したがって、患者個人の様々な臨床検査データから生体内で起こっている化学反応を推測する能力、及び薬物治療の有効性を評価・判断する能力は、今後臨床現場の指導的立場に立つ薬剤師にとって不可欠なものである。臨床病態検査学では、患者の臨床データを科学的根拠に基づいて的確に解析、評価、判断する方法、臨床検査医学的な立場から疾患を診断する方法、及びその予防法などを学ぶ。 本科目は、10コマの講義と、5コマの演習を組み合わせ、学修効果を最大限に発揮できるように構成されている。							
教科書・参考書							
教科書：標準臨床検査医学（第4版）高木康編集：医学書院 4260016008 参考書：必要に応じレジュメを配布。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
教科書並びに配布資料を事前に学修し、当該授業科目の理解に備えること。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	検査の意義と種類及びその特性	日常用いられている臨床検査法の種類とその意義 (限)	予習：教科書 p3～p14 復習：当該授業内容の復習
2	検体の採取と保存について	検査のタイミングや食事、採血姿勢等による検査データの変化 (限)	予習：教科書 p22～p25 復習：当該授業内容の復習
3	生体機能検査の種類と原理	生体機能検査の種類、原理、関連疾患の病態生理 (限)	予習：教科書 p337～p376 復習：当該授業内容の復習
4	血液生化学検査	生化学検査の種類、原理、関連疾患の病態生理 (高崎)	予習：血液生化学検査について調査しておく 復習：当該授業内容の復習
5	その他の検体検査について	その他検体検査 (血液学的検査) の種類、原理、関連疾患の病態生理 (限)	予習：教科書 p48～p91 復習：当該授業内容の復習
6	検査結果の解釈	検査データから患者の臨床状態を考察する (限)	予習：特になし 復習：当該授業内容の復習
7	微生物学検査の意義と種類	微生物学検査法の原理と感染症の診断 (小林)	予習：教科書 p282～p304 復習：当該授業内容の復習
8	感染症への予防と対応	感染症の治療、予防法と耐性菌・耐性ウイルスへの対応についての討論 (小林)	予習：感染症への対応に関して調査しておく 復習：当該授業内容の復習
9	悪性腫瘍の検査法	悪性腫瘍の検査法 (腫瘍マーカー、病理検査) (太田一)	予習：教科書 p305～p312 復習：当該授業内容の復習
10	免疫学検査	感染症、アレルギー、及び自己抗体に関する免疫学的検査法の原理と今後の展望について (限)	予習：教科書 p248～p281 復習：当該授業内容の復習
11	遺伝子検査法について	遺伝子検査法の実例と検出できる疾患 (小川)	予習：遺伝子検査法について調査しておく 復習：当該授業内容の復習
12	臨床検査を利用したテーラーメイド医療	テーラーメイド医療と臨床検査との関係についての討論 (小川)	予習：特になし 復習：当該授業内容の復習
13	臨床検査の標準化への取り組み	国内外における臨床検査データの標準化への取り組みの現状について (限)	予習：臨床検査の標準化に関する調査 復習：当該授業内容の復習
14	論文研究	臨床検査に関する論文についての討論 (限)	予習：科学論文の調査 復習：当該授業内容の復習
15	総合討論	臨床検査への薬剤師としての関わり方について発表し討議する (全員)	予習：プレゼンテーションの準備 復習：当該授業内容の復習